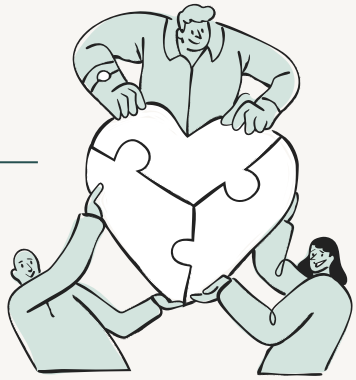
近畿支部活動報告

第17回ICNJ近畿支部総会・地方会



「活動を形にする」をテーマに

2025年10月25日（土）グランフロント大阪で第17回日本感染管理ネットワーク近畿支部総会、地方会を開催しました。
総会では皆様のご協力のもと滞りなく議事進行し提出された議案すべてが可決されました。地方会は62名の近畿支部会員、近畿支部外の会員の方々にご参加いただきました。

特別講演

「抄録を書いてみよう！～学会発表への第一歩～」
兵庫医科大学 看護学部 教授 土田 敏恵 先生

抄録の作成の基本から実践的なポイントまで分かりやすく解説頂き、後半のワークショップでは実際に抄録を作成し、明日から活用できる実践的な学びを得ることが出来ました。

ワークショップ（2例）

ワークショップでは経験豊富な3名のファシリテーターの先生方に経験に基づく分かりやすい助言をいただきました。
〈ファシリテータ〉
大阪医科薬科大学病院 広域医療連携室 副参事　川西 史子 先生
大阪大学医学部付属病院 感染制御部 看護師長　太田 悦子 先生
京都府立医科大学大学院 保健看護学研究科 教授 内海 桃絵 先生

企業展示

今回は21社の企業さんにご協力いただきました。
各社1分間プレゼンテーションを行って頂き「イチオシ」製品の紹介やポイントを熱く語っていただきました。
企業展示ブースではプレゼンテーションで気になる製品を確認されるなど大盛況でした。

　感染管理推進者として活動を“発信”という形にすることは、非常に意義深い取り組みです。
今回の地方会では、学会発表に向け抄録作成の基本から実践的なポイントを学びました。講演で基礎を理解し、ワークショップで抄録作成を行うことにより今まで見落としていたポイントや、相手に伝わる表現方法など実践的な学びとなりました。「もっと早くこの講演を聞きたかった」というご意見も多く頂きました。学会発表をはじめ、活動を形にし発信する機会が多い私たちにとって“発信のカタチ”について改めて考える機会となり、今後の学会発表や日々の情報発信において、より伝わる表現を意識して取り組んでいきたいと感じました。
2025年度総会・地方会にご参加いただいた近畿支部会員、近畿支部会員以外の皆様、ご協力いただきました企業の皆様に心より感謝申し上げます。

2026年度も魅力ある地方会が開催できるよう取り組んでまいります。

ICNJ近畿支部一同